

原発ゼロ 声上げよう



福井・市民行進

再稼働差し止め覆させない

行進する参加者らと佐藤県議（左から2人目）＝11日、福井市

「危険な原発は、もうやめよう」。原発問題住民運動福井県連絡会の呼びかけで、毎月定例で行われている「原発ゼロをめざす市民行進」が11日、福井市で実施されました。東京電力福島第1原発事故が発生した2011年3月から4カ月後の7月11日に開始し、今回が47回目です。

福井県では、原子力規制委員会が新規制基準に「適合」とする審査書を決定した関西電力高浜原発3、4号機（同県高浜町）の再稼働に向け、県原子力安全専門委員会が安全性を審議しています。高浜3、4号機の再稼働差し止めを命じた福井地裁の仮処分決定により、2基は決定が覆されない限り、動かせなくなっています。関電は決定的取り消しを求めて保全異議申し立てを同地裁に行っています。出発前の集会で、日本共産党の佐藤正雄県議があいさつを行い、県原子力安全専門委員会（中川英之委員長）の審議にふれ、「中川委員長は、関電や規制委員会寄りな議論をまとめようとする。多くの国民・県民が見ていることを示す必要がある」と訴え。いっそうの運動と、傍聴など監視強化を呼びかけ、「原発ゼロで、いっしょに声を上げよう」と呼びかけました。

参加者らは「大地を汚す原発なくそう」と訴えて行進しました。福井市の女性（37）は「安倍首相らは、事故などなかったかのようにしようとしている。声をあげ続けることが本当に大事です」と話しました。

5/3
あ族